



# たしみず 市議会だより

ジョン万のふるさと土佐清水



第113号

2020年5月1日

津呂のこいのぼり

## 1月・3月・3月第2回会議

◎1月・3月・3月第2回会議の概要	2
◎議案等の議決結果	3
◎一般質問(要旨)	4
◎委員会の審査内容(抜粋)	12
◎委員会の活動報告(抜粋)	16
◎議長の活動報告	17
◎議会日誌	18





## 3月会議では、一般会計当初予算案

# 106億3300万円を

## 全会一致で可決!!

### 1月会議の概要

1月会議は、1月24日に開会し、令和2年土佐清水市議会定例会の会期を12月28日までの340日間とすることを決定いたしました。

市長からは、議案2件が提出され、陳情1件と合わせて所管の委員会に付託し、審査を経た後、審査結果報告が行われ、採決の結果、全会一致により原案のとおり可決及び採択いたしました。また、議案第3号「土佐清水市長等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」が追加提出され、採決の結果、全会一致により可決し、散会いたしました。

### 3月会議の概要

3月会議は、3月2日に再開し、審議期間を3月19日までの18日間に決定し、市長から報告2件、議案26件が提出

されました。

一般質問は、3月9日から11日までの3日間行われ、作業機付きトラクターの公道走行、固定資産税、地域を支える行政のあり方、人権問題の啓発、サポカー（安全運転サポート車）補助金、集落活動センター、竜串エリア再開発、南海トラフ地震に備えての住宅耐震化についてなど、8人の議員が質問戦を展開いたしました。

最終日には、3月会議で付託をされた議案について、各常任委員会から審査結果の報告を行い、議案第22号については、反対討論及び賛成討論が行われ、採決の結果、全て原案のとおり可決いたしました。

また、市長から議案1件及び同意案1件が追加提出され、採決の結果、全会一致により可決及び同意し、散会いたしました。

### 3月第2回会議の概要

3月第2回会議は、3月30日に再開し、審議期間を1日間と決定し、市長から議案1件が提出されました。所管の委員会に付託し、審査を経た後、審査結果報告が行われ、採決の結果、全会一致により原案のとおり可決し、散会いたしました。

### 人事案件

○固定資産評価審査

委員会委員

宮崎 敬三氏

(汐見町)新任



## 議案等の議決結果

議会	番号	件名	議決結果
1月会議	議案第1号	土佐清水市課設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第2号	土佐清水市うすばえ桜公園の指定管理者の指定について	可決
	議案第3号	土佐清水市長等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	陳情第1号	土佐清水市迷惑駐車防止に関する看板設置についての陳情	採択
3月会議	報告第1号	専決処分した事件の報告について(土佐清水市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	—
	報告第2号	専決処分した事件の報告について(訴えの提起について)	—
	議案第4号	令和元年度土佐清水市一般会計補正予算(第6号)について	可決
	議案第5号	令和元年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	可決
	議案第6号	令和元年度土佐清水市指定介護老人福祉施設事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
	議案第7号	令和元年度土佐清水市介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
	議案第8号	令和元年度土佐清水市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	可決
	議案第9号	令和2年度土佐清水市一般会計予算について	可決
	議案第10号	令和2年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計予算について	可決
	議案第11号	令和2年度土佐清水市介護保険特別会計予算について	可決
	議案第12号	令和2年度土佐清水市後期高齢者医療特別会計予算について	可決
	議案第13号	令和2年度土佐清水市再生可能エネルギー事業特別会計予算について	可決
	議案第14号	令和2年度土佐清水市特別養護老人ホームしおさい特別会計予算について	可決
	議案第15号	令和2年度土佐清水市水道事業会計予算について	可決
	議案第16号	土佐清水市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第17号	土佐清水市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第18号	土佐清水市水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第19号	土佐清水市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第20号	土佐清水市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第21号	土佐清水市老人憩の家設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第22号	土佐清水市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第23号	土佐清水市物流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第24号	土佐清水市違法駐車等の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第25号	行政不服審査法第81条第1項に規定する機関に関する事務の委託について	可決
	議案第26号	幡多広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び幡多広域市町村圏事務組合規約の一部変更について	可決
	議案第27号	高知県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び高知県市町村総合事務組合規約の変更について	可決
	議案第28号	高知県市町村総合事務組合から芸東衛生組合が脱退することに伴う財産処分について	可決
	議案第29号	高知県市町村総合事務組合から高幡西部特別養護老人ホーム組合が脱退することに伴う財産処分について	可決
	議案第30号	土佐清水市水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	同意案第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
3月第2回会議	議案第31号	土佐清水市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決

## 賛否の分かれた議案

番号	件名	谷口 佳保	弘田 条	武政 健三	山崎 誠一	吉村 政朗	作田 喜秋	岡本 詠	甲藤 眞	細川 博史	前田 晃	浅尾 公厚	永野 裕夫	議決結果
議案第22号	土佐清水市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	×	欠席	○	×	○	議長	可決 (賛8、反2)

# 一般質問

## 弘田

## 条 議員



### 1 会計年度任用職員について

(議員)

導入された経過について問う

(総務課長)

地方自治体における臨時・非常勤職員は、手当や休暇などの待遇面において、正規職員と比較して差があることなど全国的な課題となっていた。

このような課題解消を目的として、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が平成29年5月17日に公布され、本年4月1日から会計年度任用職員制度が開始されることとなった。

(議員)

会計年度任用職員の処遇について聞く

(総務課長)

職種や勤務形態等によって違いはあるが、基本的に日給制で算定していた賃金の月給制への移行と、期末手当の支給などである。

福利厚生面では、新たに忌引き、結婚休暇、夏季休暇等の有給休暇や、無給ではあるが産前産後休暇や

育児休暇などを創設したところである。

### 2 作業機付きトラクターの公道走行について

(議員)

平成31年4月、規制緩和により、農作業機を直接装置した農耕トラクターの公道走行が可能になったが、この制度の内容について聞く

(農林水産課長)

作業機付きトラクターの公道走行は、昨年4月に、農業生産の向上を図る観点から、緩和措置が取られ、条件付きで公道走行が可能となった。

方向指示器などが確認しやすく、見やすくすること。車両幅が1・7mを超えないこと。超える場合は、大型特殊免許が必要になる。時速15km以下で走行することが条件となっている。

(議員)

周知について聞く

(農林水産課長)

これまで市の農業委員会への情報提供、J Aも各種の部会や広報誌

などで周知してきたところであるが、今後この制度を知らないために法令違反も懸念されることから、市広報やホームページ、農業委員会の広報誌などへ掲載・周知していく。

(議員)

昨年4月から既に制度は始まっており、少しでも大型特殊免許取得が可能となるよう支援を要請する。

(農林水産課長)

大型特殊免許取得は、県下市町村の共通の課題であり、適切な情報提供や、近隣市町村や関係機関と情報交換しながら、何らかの対策が講じられないか検討する。



作業機付きトラクター



土佐清水市役所

一般質問

山崎 誠一  
議員



## 1 固定資産税について

(議員)

地球温暖化を防ぎ再生可能エネルギーを生み出す風力発電施設は、償却資産であり、固定資産税の課税対象となることから、税収としてどのような影響があると考えられるかを問う

(税務課長)

大規模風力発電施設が仮に本市に設置された場合、特に大きな税収が期待できるのは、償却資産に係る固定資産税になると思われる。単純に課税標準額1億円当たり固定資産税は140万円が課税され、その影響が推察できると思われる。発電機の耐用年数は17年で、毎年減価償却され税額は減少するが、残存価格が取得額の5%までとなっており、施設が存続し事業が継続される限り税収への影響は多大にあると考えられる。

## 2 市税の徴収率について

(議員)

平成30年度の徴収率について、県

下の市町村の平均が97・1%で本市の収納率の推移は、28年度が91・73%、29年度が92・67%、30年度が94・04%。収納率は上昇しているが平均を下回っている。

(収納推進課長)

財産調査について対象範囲の拡大、収入等を含めた実態調査を念に行い、適切な差し押さえの執行と税負担の公平性に努めている。また、幡多債権管理機構への移管を行った滞納者・法人からの徴収が収納率の向上に貢献している。

## 3 河川の浚渫維持管理について

(議員)

昨年、豪雨で東日本を中心に堤防の決壊が相次ぎ甚大な災害が発生した。国は深刻に受け止め予算措置をしているが、その氾濫防止対策等について問う

(まちづくり対策課長)

国は、地方自治体が河川等に溜まった土砂の除去・処分、樹木伐採等を行い、氾濫を防ぐための事業として緊急浚渫推進事業を創設する。

(議員)

緊急浚渫事業は市の管理河川に使えるかを問う

(まちづくり対策課長)

本事業は、緊急的な河川等の浚渫を目的に、維持管理計画など個別計画に位置付けした河川等に関する浚渫が対象で、本市の河川管理についても対象になる。

(議員)

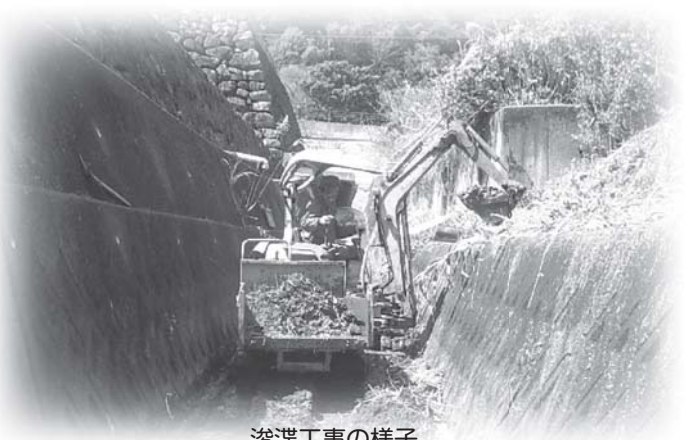
本市の当初予算案の土木費の河川管理に係る予算措置について問う

(まちづくり対策課長)

河川費に重機等借上料として予算を計上している。これは台風や豪雨により河床掘削が必要となった際に重機等により浚渫を行うための予算。

### 気になる用語

浚渫(しゅんせつ)… 河川や港湾などの底にたまった土砂などを除去すること。河川においては、豪雨などで堆積物がたまり、川底が浅くなると、河川の流量が確保できなくなるため、治水のために行われる。



浚渫工事の様子

## 一般質問

# 前田

# 晃

議員



## 1 新型コロナウイルスの 対策について

(議員)

新型コロナウイルスに対する市の対応策は？

(市長)

予防対策として市役所玄関などに消毒液設置、窓口職員のマスク着用、広報などで注意喚起を促す情報提供を行っている。休校に伴う子どもへの受け入れ体制の整備、公共施設での行事や活動の中止・自粛要請、休館、市県民税の申告時期変更などの措置もとっている。

情報をもとに国・県と連携して感染予防を徹底したい。

(議員)

市民はマスクが手に入らず困っているが、市がマスクを確保し配布することはできないか。

(市長)

南海トラフ用の備蓄用マスク(1万枚)はあるが全員には行き届かない。緊急の場合には公共性の高い施設

設などを中心に配布することは検討したい。

## 2 地域を支える行政の あり方について

(議員)

この10年間の4地区別の高齢化率の推移は？

(企画財政課長)

下ノ加江地区43・2%↓56・3%、清水地区34・7%↓46・8%、三崎地区40・4%↓49・1%、下川口地区47・0%↓52・7%。

(議員)

高齢化が進む周辺集落を市が支えるために、3市民センターに「防災と地域づくり」担当の職員を配置できないか。

(市長)

役所などの職場も必要最小限の人数で業務を行っており、現段階では今の職員体制(2名)で、地域おこし協力隊や集落活動センターとの連携を密にしながら対応していきたい。

(議員)

地域での高齢者支援(地域包括ケア)を自治会に要請するとすれば、ボランティアではなく業務委託契約か財政的な支援が必要ではないか。

(副市長)

住み慣れた地域で安心して暮らすには公的サービスでは限界がある。本市では区長や民生委員、福祉協力員、ボランティアなどと連携して見守りや支え合いを行っており、今後も地域と連携して高齢者支援を進めていきたい。

## 3 今ノ山大型風力発電 について

(議員)

大型風力発電に対する市民の声をどう受け止めているか。また建設計画に対してどう対応するのか。

(市長)

工事中や稼働時の騒音・超低周波音、動植物の生態系など環境への影響を懸念する市民の声は承知し

ている。隣接する三原村とも情報を共有しながら、本市の将来にとってより良い方向性を見いだしていきたい。

### 気になる用語

地域包括ケア……

医療や介護が必要な状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」の5つの支援・サービスを一体的に提供し、地域のさまざまな支援・サービスの仕組みを活用しながら、高齢者への支援を行うこと。

# 一般質問

## 吉村 政朗

議員



### 1 人権問題の啓発について

（議員）

人権教育推進講座「ひゅーまんらいつ（人権）」は、内容も良く興味深いものであったが、本市もインバウンドや外国人就労者の人数が増加している。来年度のメニューに、人権三法の中のヘイトスピーチ解消法に関連する講座を加えてはどうか？

（じんけん課長）

もう一講座増やすことや、新しく始める予定の「じんけん出前講座」を実地するに当たり、外国人研修等の受け入れを行なっている企業で、希望があれば実地していきたい。

### 2 放課後児童健全育成事業（学童保育）について

（議員）

平成27年4月に施行された「子ども・子育て支援新制度」により、放課後児童クラブに勤務する職員は、「放課後支援員」の資格が必要と

なったが、5年間の経過措置がある。本市の現状を聞く。

（生涯学習課長）

本市の放課後児童クラブの職員は、ほとんどが資格要件を満たしており、施設の質は十分満たされているので、経過措置の延長は行わない。

（議員）

本市の学童保育の質は高いと思うが、「地方分権一括法」の改正により、運営基準が緩和される。本市はどのように対応するのか？

（生涯学習課長）

事業の質の確保の観点から、基準を下げることなく、支援員数も現行どおりとし、条例改正も行わない。

（議員）

放課後児童支援員の方々の労働条件は、仕事の重さの割に不安定で厳しい状況だ。安心して働き続けられるよう、処遇改善すべきだ。

（生涯学習課長）

令和2年度は、学童保育の質を高めることを目的として、「放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善

加算」を委託料に加算する。今後も、支援について検討していきたい。

### 3 観光振興について

（議員）

体験型キャンペーンの動向を聞く。

（観光商工課長）

繁忙期における台風接近により宿泊者数が減少した中、竜串エリアを中心に利用者数は増加した。

（議員）

周遊スタンプラリーの効果は？

（観光商工課長）

一定の効果はあった。課題への対応も含め、宿泊客に限定した新たなクーポン事業を開始する予定だ。

### 4 足摺テルメについて

（議員）

足摺テルメの宿泊料金は条例で定められているが、指定管理者が決定できるように変更すべきではないか？

（観光商工課長）

一年後の指定管理者についての

協議の際には、総体的に検討してもいいのではないかと思っている。

### 気になる用語

#### ヘイトスピーチ… 解消法

正式には、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」。日本に住む日本以外の出身者や子孫に対する差別意識を助長・誘発し、地域社会から排斥することを扇動するような言動の解消をめざす法律。

## 一般質問

# 作田 喜秋

議員



### 1 防災士の力を生かそう

(議員)

地震や豪雨など自然災害が多発する中、地域や職場での防災活動を担う「防災士」を取得する人が増えている。

本市の防災士の数は

(危機管理課長)

今年度合格者を含め65名。

(議員)

資格取得費用の助成は

(危機管理課長)

防災士に認定されるまでに必要な費用は6万5000円で、5万2500円を県が、条件付きで8000円を市が補助している。

(議員)

防災士を増やす取り組みは

(危機管理課長)

受講者を増やすため、市広報やホームページなどに掲載、来年度は企業向けに周知するなど新たな方法でPRすることを検討している。

### 2 サポカー(安全運転サポート車)補助金に

ついて

ついで

(議員)

本市の交通安全対策は

(総務課長)

高齢者交通安全対策の推進に関する条例などを制定し、交通安全教育及び情報提供活動の推進などにより、交通安全思想の啓発や高齢者の交通事故防止に取り組んでおり、交通安全市民会議や、中村警察署清水警察庁舎等関係機関の協力により、春と秋に市内一斉街頭指導をはじめ交通安全茶屋、自転車安全運転及びシートベルト着用キャンペーンなどを行っている。

(議員)

市長の見解は

(市長)

全国的にも高齢者によるブレーキの踏み間違いなどによる交通事故が多発しており、本市においても昨年は3名もの尊い命が失われており、改めて交通安全の推進につい

て決意をしている。

サポカー補助金は、国が65歳以上の高齢運転者による交通事故対策の一環として始めた事業で本年3月9日から受け付けを開始している。

本市においては、公共交通機関が少なく、高齢者も日常生活で自家用車に頼らざるを得ない状況であり、高齢ドライバーによる交通事故を防止するため、独自の補助制度がでないか検討してきた経過がある。令和2年度には、自動ブレーキ体験講習会を計画しており、その結果などを踏まえ、補助制度の創設について検討していきたい。

## 気になる用語

**サポカー補助金**… 経済産業省による自家用自動車を対象とした「安全運転サポート車普及促進事業費補助金」及び国土交通省による事業用自動車を対象とした「安全運転サポート車普及促進に係る自動車事故対策費補助金」の総称。安全運転サポート車の車両(新車・中古車)購入補助と後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置導入補助の2種類の補助制度で構成される。

**サポカー**… 衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い急発進抑制装置などに代表される先進安全技術を搭載した車のこと。高齢運転者の交通事故防止対策の一環として、官民連携で普及啓発に取り組んでいる。



防災士連絡協議会の様子



# 一般質問

## 岡本

### 詠 議員



### 1 布の迷惑駐車について

(議員)

陳情を受けてから、その後の状況は？

(まちづくり対策課長)

布地区から迷惑駐車防止に関する条例の制定・看板設置の陳情を受けてから、地元区長、地元サーファー、行政機関等による協議を行ってきた。まずは年度内の看板設置に向けて取り組んでいる。

### 2 集落活動センターについて

(議員)

これから予定している地域、住民の声は？

(企画財政課長)

下ノ加江地区で、住民の負担が少ない事業を基礎とした提案型の事業計画を作成し地区住民との意見交換を進めてきたが、事業計画策定委員の人選や、事業計画の内容について一部地域からの反発があり、計画を白紙として今後について検討

している。

(議員)

この取り組みにおいて一番重要なことは？

(市長)

地域ビジョンを地域住民が主体となって築き上げ、地域の方々の合意形成が図られる取り組みであることが重要と考える。

### 3 水道事業について

(議員)

三崎地区取水場改修の概要は？

(水道課長)

改修の目的は、43年を経過し老朽化した設備を含めて施設を改修するもので、事業費8億円、工事期間7年。事業内容は、取水井戸2本の新設、管理棟の建て替え、三崎から益野までの配水管布設、配水池の建て替えを行う。

取水井戸については、これまで三崎地区の使用量900t程度を4時間ほどで取水していたものが、10時間程度で取水するものに変わっ

た。

(議員)

周辺農家への影響は？

(水道課長)

周辺環境に対しての取水による負荷は軽減され、より自然に近い環境となる。

(議員)

南海トラフ大地震等により、貯水槽が崩落した場合の被害予想は？

(水道課長)

万が一崩落し山から水が住家に達した場合、一部で床下浸水になると推測する。

(議員)

法定耐用年数の40年を経過した経年劣化の水道管の割合は、全国で16・7% (2017年) 本市の割合は？

(水道課長)

上水道と簡易水道の総延長184kmのうち65kmで35%。

(議員)

漏水率は？

(水道課長)

H30年度で、23%。旧町単位では、清水20%、三崎23%、下ノ加江37%、下川口36%となる。

(議員)

本市の経済損失は？

(水道課長)

あくまで推計だが、電気料等の費用が2579万円かかっているもので、そのうち漏水率23%を計算すると593万円となる。



布地区に設置された迷惑駐車禁止の看板

## 一般質問

# 谷口 佳保

議員



### 1 新型コロナウイルス感染症について

(議員) 新型コロナウイルス感染症が疑われるような症状が出た場合どのように対処すればよいか

(市長) かかりつけの病院を直接受診するのではなく、まず「新型コロナウイルス相談センター」へ連絡して今後の対応について指示に従っていただく。

(議員) 感染が疑われる場合は直接医療機関を受診しないことを、再度、周知徹底をお願いする。

### 2 竜串エリア再開発について

(議員) キャンプ場年間利用者数試算に対して実際の推移について

(観光商工課長) 計画では年間8200人を見込んでいたが2月末の実績では53

22人。

(議員) 竜串周辺の施設ごとの来場者数について

(観光商工課長)

各施設の前年度対比は、足摺海底館103・6%、貝類展示館126%、たつくし海中観光125・6%、足摺海洋館92・7%。

(議員)

消費拡大につなげるため実施されたものの成果について

(観光商工課長)

キャンプ場使用料や物販売り上げ、わら焼き体験料の売り上げを含む直接効果として、当初計画額2840万円に対し、2月末までで3270万円の実績額となっている。

(議員)

新型コロナウイルス感染症の影響による観光業への対策は

(観光商工課長)

国は、中小企業信用保証保険法による、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた中小企業・小規

模事業者に対して、一般保証と別枠の保証が利用可能となる融資制度を発動した。高知県経営支援課は相談窓口を創設し、新型コロナウイルス感染症に起因して売上高が減少した事業者向けの融資制度もある。市単独の支援策は、状況を見ながら検討していきたい。

### 3 地域公共交通網形成

計画について

(議員)

介護タクシー・福祉タクシーの利用対象者について

(健康推進課長)

「介護保険で要介護及び要支援の認定を受けている方」「身体障害者手帳の交付を受けている方」「肢体不自由、内部障害、知的障害及び精神障害その他の障害を有する等、単独での移動が困難な方であって、単独でタクシーその他の公共交通機関を利用することが困難な方」「消防機関又は消防機関と連携するコールセンターを介して、患者等搬

送事業者による搬送サービスの提供を受ける患者の方」とこれら対象者の付き添いの方に限定されている。



貝類展示館

# Q 一般質問

## 武政 健三 議員



### 1 大岐の浜、北側展望 駐車場の木の伐採 について

(議員) 大岐の浜北側展望駐車場の木の伐採は定期的に計画しているか？

(観光商工課長)

現在の景観が保たれるよう定期的な手入れ作業を行いたい。

### 2 ふるさと納税について

(議員)

頂いた寄附金の内訳、返礼品、経費、市に残る金額を教えてください

(企画財政課長)

内訳は、3割が返礼品代金、約2割が返礼品の配送料とポータルサイトやクレジットカード会社に支払う経費となり、残り約5割が市の財源として残る。

(議員)

いずれ近い将来10億円が達成できれば、3億円が清水の返礼品としての売り上げになり、そして約5億円もの財源ができるんですね！

は、今期の最終実績の予想と来季の目標は？

(企画財政課長)

今年度の寄附額は昨年との2・6倍の2億5千万円を見込んでいる。来年度の当初予算では、2億円を上している。

(議員)

2億円と言わず5億円目指すべき！ふるさと納税の実績、及び何に使ったかをもっと具体的に市民にお伝えするべきではないか？

(企画財政課長)

毎年6月に広報に実績と使い道を掲載しているが、10月頃にも宣言の記事を掲載したい。

### 3 南海トラフ地震に 備えての住宅耐震化 について

(議員)

幡多市町村の過去5年間の住宅耐震化の件数は？

(危機管理課長)

黒潮町469件、四万十市211件、宿毛市89件、土佐清水市101

件。

(議員)

命を守るための耐震工事の自己負担金が本市のネックになっている。もっと少ない金額でできるはずなので精査をして次回に必ず報告する。次に、逃げるのが困難な災害弱者のために、高台に住める場所を増やすべきと思うが、高台に市営住宅を建てる計画はないか？

(まちづくり対策課長)

市営住宅を高台に移転する具体的な計画はないが、重要性は十分に認識しているので引き続き課題として捉えていく。

(議員)

### 市長の所見を

(市長)

住宅の耐震化・家具の固定が、一丁目一番地だがなかなか進まないのが現状。高台移転についても、今後も市民の命を守るという観点から、様々な観点から研究していく。

(議員)

「耐震工事をして命を守ろうとすることによって、住民の皆さんの不

安な気持ちや、安心感と将来への希望に変わるといふことをもっとみんなに伝えたいかん！」と黒潮町の区長さんから強く教えていただいた。



大岐の浜北側展望駐車場

# 委員会の 審査内容 (抜粋)

## 1月会議

### 総務文教常任委員会

**土佐清水市課設置条例の  
一部を改正する条例の  
制定について**

(執行部)

今年度の行政改革において、現在、企画財政課で所管している「ふるさと納税に関する業務」を来年度から観光商工課に移管することから、「土佐清水市課設置条例」の「観光商工課」の分掌事務に業務内容を追記する条例改正。今年度の寄附額は、すでに2億2千万円を超え、昨年の最終実績の約2・3倍となっている。現在、「ふるさと納税」に関する業務は正職員2人と臨時職員1人の計3人で業務を行っているが、この寄附者へ

の返礼品を取り扱う事業者が約70者あり、商工部門との関わりが大きいことから、より一層の連携や情報共有が図られるよう、観光商工課内に係を新設して取り組みを強化するもの。

あわせて、本市の地場産品の販路拡大、地産外商の促進に対する相乗効果も期待できることから、分掌事務を移管する条例改正。

(委員)

返礼品を取り扱う事業者

(70者)は、市内の業者か。

(執行部)

すべて市内業者である。

### 産業厚生常任委員会

**土佐清水市うすばえ桜公園の  
指定管理者の指定について**

(執行部)

平成16年7月1日に「土佐清水市うすばえ桜公園設置及び管理に関する条例」を制定し、平成22年3月末まで地元「さくらクラブ」が指定管理

者として管理を行ってきたが、高齢を理由に平成22年4月以降については同クラブも管理継続を断念し、その他に指定管理者の応募もないことから、その後は市が直営で管理を行ってきた。

令和元年10月18日から11月15日の期間で市広報誌、市ホームページ及び農林水産課窓口への掲示で指定管理者の募集を実施したところ、1件の応募があり、指定管理者の審査を実施し選定を行い、議会の議決を経るもの。

指定管理候補者は、「NPO

法人縄文の風」で、同法人は、

松尾地区にある唐人駄場周辺の諸問題を取り上げ、観光環境保全に関わる事業を行うことにより唐人駄場の素晴らしさを多くの人に伝え、自立した活動の継続で唐人駄場レガシーを保存し地域の活性化に寄与する事を目的とし、唐人

駄場周辺の維持管理や土器作製まがたま、勾玉づくりの体験、パーベ

キューカリキュラムの作成などの事業計画を挙げている。指定管理の期間は令和2年4月1日から令和5年3月31日までの3年間。

(委員)

以前に依頼したプレゼン内

容の開示もあり、評価する。

(委員)

指定管理料について。

(執行部)

除草などの管理費として年62万円を3年間指定管理料として支出する。



うすばえ桜公園

## 陳情

件名	陳情者	審査結果
土佐清水市迷惑駐車防止に関する看板設置についての陳情	布郷区長 川村 勝俊 氏 布浦区長 三木 篤 氏 布東谷区長 西畑 清造 氏	採 択

# 3月会議

## 予算決算常任委員会

令和元年度土佐清水市  
一般会計補正予算(第6号)  
について

### ◆小学校情報通信 ネットワーク環境施設 整備事業

(委員)  
全員にタブレットが行き渡  
るのか。

(執行部)  
小学5、6年生を対象に、国  
が掲げている「GIGAス  
クール構想の実現」に向けた  
校内通信ネットワーク整備事  
業により、タブレットの購入  
を進めている。令和4年度中  
にタブレット端末、あるいは  
パソコンを全児童1人に1台  
導入していく構想である。

(委員)

プログラミング教育とはど  
ういうものか。

(執行部)

コンピューターに子供たち

が考えた(意図した)処理を行  
わせるための教育で、論理的  
な思考力「プログラミング的  
思考」を育むもの。自分がプロ  
グラミングをすることで、ど  
のような結果が出るかという  
ことをプログラミングの中で  
確実に理解できるものとなっ  
ている。来年度から小学校の  
新学習指導要領導入に伴い、  
教科指導の中でプログラミング  
が必修となり、全国一律に  
ICT環境の整備に向け、本  
市も取り組んでいく。

(委員)  
タブレット150台の購入  
方法について。

(執行部)

高知県が県下の購入台数を  
総括して入札を行い、各自治  
体が契約・購入する。

(委員)

財源として充当している補  
正予算債について。

(執行部)

本事業に対する補正予算債  
の後年度における元利償還金

については、その60%が基準  
財政需要額に算入される。



### ◇令和2年度土佐清水市 一般会計(新規事業)

○デマンド交通予約受付シス  
テム委託事業 (66万円)

○結婚新生活支援事業費補助  
金 (300万円)

○介護職員初任者研修業務委  
託 (216万7000円)

○産婦健康診査事業 (92万3000円)

○ため池ハザードマップ作成  
業務 (600万円)

○特産農産物販売拡大総合支  
援事業 (64万1000円)

○全国カツオまつりサミット  
in土佐清水 運営委託事業 (300万円)

○海岸保全施設長寿命化計画  
策定業務 (1220万円)

○中小企業者等経営支援事業  
保証料補助金 (44万円)

○産業振興推進総合支援事業  
費補助金 (415万79000円)

○美観向上整備事業(登録・  
文化観光充実のための国指  
定等文化財磨き上げ事業) (2026万円)

○市街地区消防屯所統合高  
台移転事業 (9926万9000円)

○防災行政無線デジタルシス  
テム設置事業 (3億8040万円)

○高知県防災行政無線システ  
ム整備工事事町村負担金 (630万7000円)

○「高知家の遍路道」プロジェ  
クト事業 (80万円)

○じんけん出前講座 (6万8000円)



中央分団第二部消防屯所

## 令和2年度土佐清水市

### 一般会計予算について

#### ◆産業振興推進総合支援事業費補助金

(委員)

事業概要について説明を求めらる。

(執行部)

中浜の節納屋業者が同地区の県道沿いに、削り節の加工、事務所、商品の販売、削り節の体験観光に加え、だし取りの体験観光ができる施設及び機械を整備する事業で、県補助金が2分の1。

(委員)

雇用の確保について

(執行部)

この補助金を活用するため審査会を開き、季節労働者やパートの方がいる中で、正職員の方を雇うなど事業拡大を通して雇が増える計画である。

(委員)

他の節納屋業者12社との関係について

(執行部)

宗田節のPRがしっかりできれば、相対的に認知度が上がり、他の事業者にも波及していく。



宗田節の天目干しの様子

#### ◆市民祭あしずりまつり

##### 事業補助金

(委員)

祭り全体にかかった費用及び花火にかかった費用について

(執行部)

祭り全体でおよそ1100万円、うち花火大会に600万円。

(委員)

青年会議所(JC)が解散し

たため、今後、事業の主体となる組織についてどこになるのか。

(執行部)

市、商工会議所及び観光協会の3者が軸となり実行委員会を立ち上げている。

(委員)

新型コロナウイルス感染症の拡大や景気悪化に伴い、寄附金を集めることができるのか危惧している。今後の方向性は。

(執行部)

実行委員会を開催し日程も決まり、体制も決まった。JCは解散したが、メンバーは残っており、ノウハウを引き継ぎながら、クラウドファンディングや、花火に特化した寄附金の集め方やふるさと納税も含め、実行委員会で検討していく。



#### ◆ジョン万次郎

##### NHK大河ドラマ化 実現事業補助金

(委員)

活動内容について。

(執行部)

主に署名活動を行っており、署名簿はジョン万資料館やジョン万生家にも置いている。啓発周知活動も缶バッジ等を記念品としてグッズ作りなどにも取り組んでいる。

(委員)

最近テレビ等でも本市がよく取り上げられている。チャンスであり、2、3年後にジョン万大河ドラマが放映されたら、観光業はV字回復するのではないか。

(執行部)

ジョン万次郎の評価自体は高いと認識しており、アメリカ・沖繩・東京の中浜万次郎会などの組織と連携しながらジョン万次郎の功績をもっと広くPRしていく。民放での特別番組が9月に放映される

予定があり、それが起爆剤となることを期待している。



中浜万次郎像

#### ◆防災行政無線デジタル

##### システム設置事業

(委員)

説明を求める。

(執行部)

この事業は、防災行政無線をデジタル化して、住民への情報提供の手段として活用する事業で、親局は市役所に置き、中継局はスカイラインの現在設置している場所と同じ場所に設置する。子局で聞こえにくい場所については、戸

別受信機500局を設置予定としている。また、遠隔制御局については消防本部に設置しており、今後、情報自動配置装置で携帯電話へ情報を流すことなども計画している。

**(委員)**

再送信局と屋外拡声子局について。

**(執行部)**

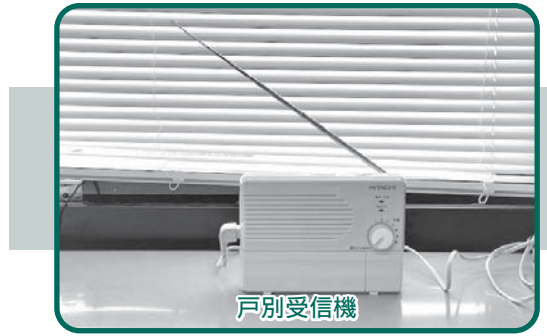
再送信局は、中継局から電波の届かない地区や戸別受信機に電波を送るもので、屋外拡声子局は各地区に1本ないし2本建っている、スピーカーを設置した子局のことで、現在、高性能スピーカーの設置を計画している。

**(委員)**

戸別受信機はどのようなものか。

**(執行部)**

ラジオのように受信して音声で放送するもので、聴覚に障害をもっている方のために、文字で表示される機種もあり、導入を検討している。



**◆木造住宅耐震改修費補助金**

**(委員)**

30件の予算となっているが、希望が多数あった場合、増額することはできないか。

**(執行部)**

国と県の予算の枠もあるが、要望を行っていく。



**総務文教常任委員会**

**土佐清水市特定教育・**

**保育施設及び特定地域型  
保育事業の運営に関する  
基準を定める条例の  
一部を改正する条例の  
制定について**

**(執行部)**

本議案は、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令に伴う条例の改正で、主な改正内容は、幼稚園や保育園での食事の提供に要する費用の取扱いの変更。

令和元年10月の子どもの保育料無償化に伴い、2号認定子ども（保育を必要とする3〜5歳）の副食費については、これまで保育料に含まれていたものが、副食費として保護者負担となった。また、1号認定子ども（教育を必要とする3〜5歳）と2号認定子どもの副食費については免除対象の範囲を拡充し

**産業厚生常任委員会**

**土佐清水市国民健康保険税  
条例の一部を改正する  
条例の制定について**

**(執行部)**

て、年収360万円未満の世帯と第3子以降の子どもの副食費を免除する取扱いとすること、また免除対象にならない子どもの食費については施設での徴収とすることが改正内容になっている。ただし本市においては、副食費が免除（無料）にならない子どもについては、幼稚園では補助金により、また保育園では保育園利用者負担金に関する市の規則により免除の措置をしており、保護者の副食費の負担はない。

**(委員)**

副食費の免除対象の範囲と市独自の副食費の免除措置について再確認し、了承。



保険税率の改定については、平成30年度の国保制度改正に伴い、県が財政運営主体となり、国保事業費納付金を県に納める仕組みとなり、制度改正初年度となる平成30年度決算については黒字となったが、令和元年度については、国保事業費納付金が、前年度比約9.9%増となる5678万6000円の増額となったことから、現時点の決算見込みでは赤字となっており、

国民健康保険の健全な運営を維持していくため、平成26年度以来の税率改定を行う。

**(委員)**

3方式へ変更すること等により、負担額はどのくらい増額になるのか。

**(執行部)**

試算によると一世帯当たり9240円、6・5%の増が見込まれている。

**(委員)**

税率を上げない方策はなかったのか。

**(執行部)**

本市としては、受益者負担の考えに基づき、財源不足が起きた場合は、当初予算にも計上しているように、繰上充用で対応している。

被保険者が減っている中、対応を先延ばしにすると、一人当たりの負担額が大きくなるため、現時点での税率改定が適切と判断している。

**(委員)**

一般会計から不足分を補つ

た場合に、どのようなペナルティがあるのか。

**(執行部)**

国のインセンティブである保険者努力支援制度の中では、法定外の一般会計からの繰入れに対し、マイナスインセンティブとして、交付を受けるべきインセンティブが減額される仕組みが導入される。影響額については試算できないが、厚生労働省が指標として示している。

**反対討論**

国税の軽減世帯の1割程度が滞納をしていて、税率が上がることで滞納世帯が増加する可能性があるのではないかと。国保会計に一般会計から繰り入れることにペナルティがあるということだが、繰入れしている自治体もある中で、自治体が判断して実行したらよいのではないか。

### 3月第2回会議

#### 総務文教常任委員会

#### 土佐清水市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

#### （執行部）

**(委員)**

一般職員の給与については、国から職責に応じた給与の設定を行うよう指導があり、これまで改正に向け2年間、土佐清水市職員労働組合と協議を重ねてきた。

このたび、市職員組合の合意を得て、行政改革推進本部での協議を終え、本年4月1日から新しい給与形態となるが、対象となる職員の影響を最小限にするため、本条例の改正を行うもの。



### 委員会等の活動報告

#### 産業厚生常任委員会

2月20日、三崎地区にある上水道三崎配水池を視察しました。

担当課から現在の配水タンクの構造などの説明があり、現在の設置場所付近にタンクを新設する計画との説明を受けました。



#### 全員協議会

2月18日に全員協議会を開催し、議会基本条例研修会を開催しました。

講師には、前市議会議員の武藤清氏をお迎えし、議会基本条例の導入に至る経過や議会改革について研修を行いました。





# 議長の活動報告

議長は年間を通じて議会を代表し、各種行事、式典や会合等に出席するほか、本会議において議事を整理し、議会の事務を統理するといった職務を遂行しています。

1月から3月までの議長の主な活動状況については、左のとおりとなっております。

- 1月
- 3日 令和2年土佐清水市成人式
  - 5日 令和2年土佐清水市消防出初式
  - 15日 幡多広域市町村圏事務組合令和2年第1回臨時議会(幡多クリーンセンター)
  - 21日 特別交付税要望(東京都)
  - 24日 幡多広域市町村圏事務組合監査(幡多クリーンセンター)
  - 28日 全国市議会議長会社会文教委員会正副委員長会議・第167回社会文教委員会(東京都)
  - 31日 幡多6市町村議長懇談会(黒潮町)
- .....
- 2月
- 2日 令和元年度土佐清水市消防団定例部長会
  - 4~5日 高知縣市議会議長会視察(神奈川県藤沢市ほか)
  - 7日 幡多三市議会事務局職員研修会
  - 27日 幡多広域市町村圏事務組合議会定例会(幡多クリーンセンター)
- .....
- 3月
- 3日 土佐清水市スポーツ賞授賞式
  - 23日 幡多広域市町村圏事務組合月例出納検査(幡多クリーンセンター)
  - 30日 高知縣市議会議長会監査

※新型コロナウイルス感染症の影響により、各種行事や式典等が中止及び延期となっております



令和2年土佐清水市消防出初式



全国市議会議長会社会文教委員会の様子

## 幡多6市町村議会議員研修会を開催しました

2月27日に本市の中央公民館で幡多6市町村議会議員研修会を開催しました。

講師には竹田真氏をお招きし、「地域の魅力について」のご講演をいただきました。各市町村の議員から多くの質疑もあり、非常に有意義な研修会となりました。



- 1月 10日 議会だより編集委員会  
 17日 総務文教常任委員会／議会運営委員会／議会だより編集委員会  
 24日 令和2年土佐清水市議会定例会(1月会議)開会／委員長会
- 2月 18日 全員協議会  
 20日 産業厚生常任委員会  
 21日 議会運営委員会／議会報告会検討委員会  
 26日 総務文教常任委員会  
 27日 幡多6市町村議会議員研修会(中央公民館)  
 28日 産業厚生常任委員会
- 3月 2日 3月会議再開／議会運営委員会／総務文教常任委員会  
 9日 質疑・一般質問  
 10日 一般質問  
 11日 一般質問  
 12日 予算決算常任委員会  
 13日 予算決算常任委員会／議会運営委員会  
 16日 総務文教常任委員会／産業厚生常任委員会／議会報告会検討委員会  
 19日 議会運営委員会／3月会議散会  
 25日 議会運営委員会  
 30日 3月第2回会議再開・散会／総務文教常任委員会／議会報告会検討委員会



## 編集後記

若葉の緑が鮮やかに映る季節となりましたが、世界中では新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、日本国内においても、日々感染者数が増加し、全国に緊急事態宣言が拡大されるなど、緊迫した状況が続いております。

幡多管内においても、感染者が確認され、他人事ではない状況となっており、自分の身は自分で守らなければなりません。本市議会においても、5月上旬に開催予定で準備を進めておりました議会報告会の開催を見合わせることにいたしました。市民の皆様のご理解をお願いいたします。

また、新型コロナウイルスの影響により、マスクやアルコール消毒液などの品薄状態が続いております。今後、うわさやデマに流されず、ゴールデンウィーク中なるべく外出を控え、手洗いがいなどに心がけてください。市民の皆様のご健康をお祈りいたします。

委員長 細川博史

市議会の開催日程など詳細は、議会事務局(☎82)1112)までお問い合わせください。

次回の開催予定は6月上旬です。日程が決まり次第、防災行政無線でお知らせいたします。

本会議の一般質問など会議での発言を記録した「会議録」を作成しています。会議の詳しい内容は会議録をご覧ください。

どなたでも閲覧できますので、市民図書館・議会事務局へお越しください。



### 土佐清水市議会だより

編集委員会

委員長 細川 博史

作田 喜秋

弘田 条

武政 健三

前田 晃